

令和元年度通常代議員総会議案書

【審議事項】

- | | |
|-------|-----------------------|
| 第1号議案 | 平成30年度事業報告並びに決算報告について |
| 第2号議案 | 理事の補充選任について |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う監事2名の選任について |

令和元年6月20日
一般社団法人 学士会

【審議事項】

第1号議案

平成30年度事業報告並びに決算報告

I. 平成30年度事業報告（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

事業概況

平成30年度の本会は、取り組むべき重点課題として以下の4点を掲げ、当該課題に対する積極的な取組みを行うとともに、定款に定める各種事業を実施してきました。

- (1) 本会の魅力作りに向けた活動の展開・継続実施
- (2) 七大学及び関連同窓団体との良好な協力関係の構築と連携・協働事業の実施
- (3) 学士会館の将来構想—会館整備問題についての方向付け
- (4) 会館事業の収益改善及び会館事業を通じた大学キャンパスへの足場作り

平成30年度の各種事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、重点課題に対する取組み結果等について報告致します。

(1) 本会の魅力作りに向けた活動の展開・継続実施

会員にとって本会の存在や活動を一層魅力あるものにするため、既存事業（講演会や会報発行）の充実に努めるとともに、会員各層（シニア会員、若手会員、女性会員、学生会員、地域会員等）のニーズに応えるべく、当該会員にとって魅力のあるプログラムの開発・提供に学士会館ともども取組んで来ましたが（実施活動の具体的内容につきましては、次頁以降に詳述致します）。

講演会（午餐会・夕食会等）の企画に際しては、会員にとって興味・関心の高いテーマの選定に努めるとともに、魅力ある講師陣の人選に努め、結果、多くの方の参加を得ることができました。また、本年度は本会事業を代表する『學士會会報』のバックナンバーをデジタル化し、過去の掲載原稿がWeb上で検索・閲覧することが可能になるなど、会員サービスの向上に努めて参りました。

(2) 七大学及び関連同窓団体との良好な協力関係の構築と連携・協働事業の実施

本年度は、「各大学支部」（支部長は各大学総長）の活動を実態的に展開していくことを課題に掲げ取組んで参りましたが、その取組みの一環として、本年度は各大学の理解・協力を得て七大学全てにおいて、新入学生に対する「学生会員」への入会勧誘活動を行う事ができ、多くの入会者（登録者）を得ることが出来ました（昨年度182名→本年度702名）。また、恒例となっている地域講演会の実施に当たっても支部の存在を基礎に、本会・大学一体となった運営が図られるようになりました。

また、昨年度試行的に実施した卒業生・同窓会を所管する各大学の責任者・関係者による意見交換会（「七大学同窓会担当事務局連絡会議」）を、本年度は定例的に開催することを目標に5月と11月の2回開催し、各大学が抱える課題の共有や有効的な実施施策の紹介など、忌憚のない意見交換・情報交換を行うことができました。

(3) 学士会館の将来構想—会館整備問題についての方向付け

本年度の事業計画に基づき、理事会の下に新たに設置された専門委員会（「学士会館整備検討委員会」）を中心に、学士会館の建築史的評価、建物保存の是非とその技術的可能性、再開発を進める上での財務上の諸課題、再開発期間中の会館機能のあり方と将来的な会館用途等、様々な視点からの検討を行いました。理事会では当委員会からの答申に基づく「学士会館の整備に関する基本方針」を策定し、3月14日開催の臨時代議員総会に提案の上、当該基本方針を承認・決定致しました。これにより本会として学士会館の再開発に向けた第一歩を踏み出すこととなりました。

(4) 会館事業の収益改善及び会館事業を通じた大学キャンパスの足場作り

本会にとって収益事業の大きな柱である会館運営事業（運営は100%子会社である(株)学士会館精養軒に委託）は、婚礼事業の落ち込みや人手不足対応等による人件費の増大など、厳しい事業環境の中での運営を余儀なくされていますが、当期決算は売上こそ対予算減収となりましたが、当初予算を上回る事業利益を出すなど、赤字となった先期決算に比べ収益改善に繋げることができました。

また、同社は昨年5月より京都大学楽友会館内のレストラン業務を受託運営することとなり（「近衛Latin」）、本会としても関係七大学のキャンパス内に“足場”を設けることが出来ました。なお、同様の趣旨で東京大学内の山上会館レストラン業務の運営募集に手を挙げましたが、本件は残念ながら実現には至りませんでした。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

1. 会 報 （ 『學士會会報』 及び 『NU7』 ）

本会会報である『學士會会報』と『NU7』を隔月に同時発行致しました。『學士會会報』は第930号を平成30年5月、第931号を7月、第932号を9月、第933号を11月、第934号を平成31年1月、第935号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

七大学総合情報誌として平成27年9月より発行している『NU7』は、第17号を平成30年5月、第18号を7月、第19号を9月、第20号を11月、第21号を平成31年1月、第22号を3月にそれぞれ発行し全会員に配布するとともに、同窓会等で学士会館を利用する卒業生や七大学関係者、そしてホームカミングデー、地域講演会の参加者等に無料で配布し、会員増強に資するよう努めました。

2. 学 士 会 館

(1) 会館の利用実績は次の通りです。

□会 議 室 利 用 回 数	4, 149回 (4, 284回)	※カッコ内は前年度の実績
□会 議 室 利 用 人 員	159, 570名 (162, 806名)	} ※延べ人数 計 331, 591名 [1日平均929名]
□宿 泊 室 利 用 人 員	8, 814名 (8, 670名)	
□レストラン等利用人員	150, 103名 (156, 723名)	
□読 書 室 利 用 会 員	2, 972名 (3, 161名)	
□会員倶楽部室利用会員	10, 132名 (9, 461名)	

(2) 会館を適切に維持・保全するために、次の通り会館の補修・改修工事を行いました。

- ・「201、202、203、210号室」音響・映像・照明等の各設備改修工事
- ・「1階北玄関・4階囲碁将棋倶楽部室・5階読書室」の床改修工事
- ・除害施設改修工事
- ・エスカレーター修理工事（経年部品交換）
- ・各所漏水対策補修工事
- ・各種設備保全修理工事

(3) 学士会館の耐震診断結果に基づき、本格的な耐震補強工事を実施することを決定し、本年度は「耐震補強設計」を着手するとともに、次年度（本年夏期）に「耐震補強工事」の施工を行うことに致しました。

(4) 学生会館の防火防災対策の一環として、次の通り実践的な防火防災訓練を行いました。

- ・平成30年 6月 大地震を想定した、学生会館全体（全従業員）の避難訓練
- ・平成30年11月 学生会職員自衛消防隊員の消火器・屋内消火栓等の取扱訓練（神田消防署）
- ・平成30年11月 夜間地震を想定した、学生会館全体（全従業員）の避難訓練
- ・平成31年 3月 学生会館精養軒従業員の119通報・消火器の取扱訓練（神田消防署）

3. 講演会、談話会、その他の集会

(1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,471名の参加がありました。なお、8月、12月は例年通り休会致しました。

高齢者不眠の予防と対策	高橋清久氏（平成30年 4月例会）
ピラミッド研究の最前線	河江肖剩氏（平成30年 5月例会）
光触媒の原理とさらなる応用	藤嶋昭氏（平成30年 6月例会）
恐竜絶滅の経緯	海保邦夫氏（平成30年 7月例会）
リーマン・ショック10年～グローバル経済・金融市場はどこに向かうのか？	熊谷亮丸氏（平成30年 9月例会）
誤嚥性肺炎から命を守る術－自分自身と家族が出来ること－	稲川利光氏（平成30年10月例会）
組織作りと人材育成～東大野球部94連敗からの脱出劇に学ぶ～	浜田一志氏（平成30年11月例会）
遺伝統計学で迫る日本人集団の適応進化	岡田随象氏（平成31年 1月例会）
西行～その歌の特色・魅力	久保田淳氏（平成31年 2月例会）
イギリスEU離脱～イギリスとEUの今後を読みとく	池本大輔氏（平成31年 3月例会）

(2) 夕 食 会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,512名の参加がありました。なお、5月、8月、1月は例年通り休会致しました。

朝鮮半島情勢の不確実性－五つのシナリオ	小此木政夫氏（平成30年 4月例会）
100歳まで元気に過ごす健幸な身体づくりの最前線	久野譜也氏（平成30年 6月例会）
デジタル化時代における日本のものづくり	藤本隆宏氏（平成30年 7月例会）
iPS細胞を用いたパーキンソン病治療	高橋淳氏（平成30年 9月例会）
レアメタル～資源の現況と今後の活用法	岡部徹氏（平成30年10月例会）
国立大学の未来：課題と展望	松尾清一氏（平成30年11月例会）
中間選挙後のトランプ政権の行方	中林美恵子氏（平成30年12月例会）
帝国ホテルのおもてなしの心	定保英弥氏（平成31年 2月例会）
外交から見た平成という時代	田中均氏（平成31年 3月例会）

(3) 新春講演会

平成31年1月10日に開催を予定しておりましたが、講師体調不良のため、中止となりました。

(4) 関西茶話会

本年度は昨年に引き続き、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延171名の参会がありました。

第31回「宇宙線イメージングによるクフ王のピラミッド内部の新空間の発見」

森島邦博氏（平成30年 4月14日）

第32回「落語に学ぶ重層的な笑いー落語はダイバーシティ芸能だー」

高島幸次氏（平成30年 6月 9日）

第33回「最新のテクノロジーを味方にして宇宙を探る

ー動き出す京大岡山3.8mせいめい望遠鏡ー」

長田哲也氏（平成30年10月13日）

第34回「知っておきたい病気の話ーがんは運である？ー」

仲野 徹氏（平成31年 2月16日）

(5) 見学会等

首都圏及び関西地域において、以下のとおり見学会等を開催致しました。

[首都圏]

本年度は次の通り、見学会を開催し、延89名の参会がありました。

「旧吉田茂邸見学会」 (平成30年 4月 8日)

「野球殿堂博物館見学会～昭和、平成と長嶋茂雄～」 (平成30年 5月 9日)

「国立科学博物館筑波研究施設 お宝見学会」 (平成30年 9月22日)

[関西地区]

本年度は次の通り、見学会（解説付き）等を開催し、各40名の参会がありました。

「聴竹居見学会」 松隈 章氏（平成30年 7月28日）

「坐禅体験会（妙心寺退蔵院）」 松山大耕氏（平成30年 9月 8日）

(6) クリスマス家族会

平成30年12月22日、学士会館においてクリスマス家族会を開催致しました。「催し」として、『ケチャップマヨネーズ?』による【うごく☆大きな絵があるファミリーコンサート】を開催し、353名の参会がありました。

(7) 新年祝賀会

平成31年1月7日、佐々木毅理事長の新年の挨拶、賀宴、米澤賢一会員の謡曲披露の後、「催し」として、舞踊集団『伊是名の会』による【琉球舞踊】で新年を祝いました。101名の参会がありました。

(8) 若手交流会

本年度は次の通り、45歳までの独身会員を対象とした若手限定交流会を開催し、延76名の参会がありました。

「秋のプラネタリウム貸切パーティー」 (平成30年10月13日)

「バーテンダー体験つき良縁パーティー」 (平成31年 3月17日)

(9) 若手茶話会

本年度、43歳までの会員を対象とした茶話会「do café」を毎月定例で開催しました。会員が提案する様々なテーマでの討論やディスカッションを行い、交流を深めました。また、その中から「読書会」や「ランチ会」、「ミニプレゼン会」、「名古屋ランチ」など参加者が運営する会を独立開催し、Web中継による遠隔地からの参加など、試行的な取り組みにより、延477名の参会がありました。

<テーマ・ゲスト>

「働き方」 石川靖文氏 (平成30年 7月28日)

「女性アナウンサーの仕事 ～テレビの裏側はこうなってる!～」(ミニプレゼン会)

ゲストプレゼンター 目黒清華氏 (平成30年 8月25日)

(10) 女性向け企画

本年度は次の通り、女性会員を主に対象とした企画を開催し、延87名の参会がありました。

「シリーズ“氣”について学ぶ・第2回 漢方・薬膳茶ブレンド体験」

(平成30年 5月26日)

「乳がんセミナー～正しい知識を身につける～」

(平成30年 7月 1日)

「100年の歴史を持つ“園芸学部”関連施設での園芸・農学体験」(平成30年10月28日)

「お寺で体感～仏教楽器演奏&悩み“僧”談会～」

(平成31年 2月16日)

(11) 地域講演会

昨年度に続き、北海道、東北、名古屋、九州大学の所在地域で講演会を開催し、延492名の参会がありました。

□北海道地区(講演会・懇親会)

共催 学士会、北海道大学校友会エルム

後援 北海道大学、北海道新聞社、NHK札幌放送局

「札幌市の地方創生」

秋元克広氏 (平成30年10月20日)

(171名)

□東北地区(講演会・懇親会)

共催 学士会、東北大学、東北大学萩友会

後援 河北新報社、NHK仙台放送局

「私の研究遍歴とカーボンナノチューブの発見」

飯島澄男氏 (平成30年11月11日)

(69名)

□名古屋地区(講演会・夕食会)

共催 学士会、名古屋大学全学同窓会

後援 名古屋大学

「日本経済再生への道」

榊原定征氏 (平成30年12月21日)

(130名)

□九州地区(講演会・懇親会)

共催 学士会、九州学士会

後援 九州大学、九州大学同窓会連合会

福岡市教育委員会、西日本新聞社

NHK福岡放送局

「最高裁判所の8年余をふり返って」

櫻井龍子氏 (平成31年 3月 2日)

(122名)

(12) ホームカミングデーへの出店

昨年度に引き続き、本年度も各大学が主催するホームカミングデーに、次のとおり参加しました。

- ① 大阪大学 学士会紹介 (平成30年 4月30日)
- ② 北海道大学 参加者配布資料へ学士会紹介資料同封 (平成30年 9月29日)
- ③ 九州大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介 (平成30年 9月29日)
- ④ 東北大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介 (平成30年 9月29日
9月30日)
- ⑤ 東京大学 学士会ビア屋台 (平成30年10月20日)
- ⑥ 名古屋大学 学士会紹介 (平成30年10月20日)
- ⑦ 京都大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介 (平成30年11月 3日)

(13) サマーパーティー・クリスマスパーティー

東京大学校友会と共催で、独身者を対象とした若手交流会を開催し、延96名の参会がありました。

「サマーパーティー2018」 (平成30年 7月14日)

「クリスマスパーティー2018」 (平成30年12月23日)

(14) ウェルカムパーティー

若手会員が本年度の新卒会員を招待する形でのイベント「ウェルカムパーティー」を平成30年7月21日に開催しました。63名の参会がありました。

(15) 七大学学生の集い

学生会員に対する企画イベントとして、平成30年11月1日に「九州大学学生の集い in伊都キャンパス」を開催しました。九州大学への後援依頼を始め、九大体育総務委員会・第58回七大学戦実行委員会との関係構築を図り、参加学生の募集に協力いただいた結果、学生会員55名の参会がありました。

また、平成30年11月28日には昨年度に引き続き「第5回 七大学学生の集い」を開催しました。本年度は若手学生会員にも参加を呼びかけ、2012年にイグ・ノーベル賞を受賞した栗原一貴氏(津田塾大学情報科学科准教授)を講師に迎え、特別講演会を開催し、27名の参会がありました。

(16) 準会員向け(先行)案内イベント

準会員から正会員への切り替えを促すイベントを開催し、10名の参会がありました。

「秩父蒸留所見学ツアー～世界が目するウイスキー『イチローズ・モルト』ほか試飲付～」

(平成30年12月8日)

(17) 鑑賞ツアー

外部団体が企画・主催する「演劇」「コンサート」「古典芸能」等の文化・芸術イベントを、価格割引、優良席提供等の会員特典を付与して紹介・斡旋する「鑑賞ツアー」を、本年度は11回企画・実施し、延696名の参会がありました。

(18) 良縁企画

結婚を希望しているお子様を持つ親御様を対象にした企画を関西地区で初開催し、14名の参加がありました。

「親から始める子どものための良縁イベント in 京都」 (平成31年 2月23日)

(19) 親子向け企画

子育て世代が、子どもと一緒に参加可能な企画を開催し、延138名の参加がありました。

「親子で学ぶ：お金の教育～小学生から～」 (平成30年 5月13日)

「潮だまりで磯の生き物観察会～大潮を狙って！～」 (平成30年 6月16日)

「気象予報士のやさしいお天気実験～目指せ！お天気博士～」 (平成30年 8月 5日)

4. 諸会議等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、平成30年6月21日学士会館において開催致しました。当日の出席代議員60名、書面等による議決権行使代議員24名、合計84名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

議案1 平成29年度事業報告並びに決算報告について

議案2 任期満了に伴う理事14名の選任について

議案3 任期満了に伴う監事2名の選任について

議案4 学士会選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員の推薦について

(2) 臨時代議員総会

平成31年3月14日、臨時代議員総会を学士会館において開催致しました。当日の出席代議員は65名、書面等による議決権行使代議員20名、計85名の出席により成立し、青山善充議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案1 平成31年度(2019年度)事業計画案及び予算案について

議案2 学士会館の整備に関する基本方針について

(3) 理事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会 (平成30年4月26日)

1. 平成30年度通常代議員総会の開催について

2. (代議員定数に関する)代議員選挙規則の改定について

3. 平成29年度決算概要について

4. 特選入会申請について

5. 学士会館整備検討委員会委員の選任について

6. (株)学士会館精養軒による東京大学山上会館食堂運營業務他の受注応募について

報告 (1) 新卒業学士等の入会状況について

(2) 平成29年度期末の会員数及び年度内動向

□5月理事会 (平成30年5月24日)

1. 平成30年度通常代議員総会の議案について

2. 株式会社会館精養軒の第67期定時株主総会議案について

報告 (1) 東京大学山上会館の業務委託公募に対する応募結果等について

(2) 京都大学楽友会館内レストラン「近衛 Latin」のリニューアルオープンについて

□6月理事会 (平成30年6月21日)

1. (定款第27条第2項に基づく)理事長の選任について

2. (定款第27条第2項に基づく)副理事長及び常務理事の選任について

3. 会報編集委員会委員、会員増強実行委員会委員及び学生会館整備検討委員会委員の選任について

□7月理事会 (平成30年7月26日)

1. 学生会館の「耐震診断結果」公表への対応について

報告 (1) 「学生会館整備検討委員会」及び「同部会」の活動状況

(2) 平成30年度・第一四半期 (4月～6月) 会計報告

(3) 会員増強について

(4) 代議員選挙関連委員の委嘱及び今後のスケジュールについて

(5) 第57回全国七大学総合体育大会 (七大戦) の開会式について

(6) 「七大学柔道選手団フランス派遣事業」への支援 (寄附) について

(7) 平成30年度後半の理事会等日程について (確認)

□9月理事会 (平成30年9月27日)

1. 学生会館の「耐震診断結果」公表への対応について

報告 (1) 平成30年度代議員選挙の実施概要について

(2) 「学生会館整備検討委員会」開催報告

(3) 会員増強について

(4) 「地域講演会」の開催予定

(5) 第57回「全国七大学総合体育大会」の競技結果及び閉会式について

□10月理事会 (平成30年10月25日)

1. 学生会館の「耐震補強工事」の実施について

2. 「学生会館整備検討委員会」の中間報告について

3. 平成30年度上半期決算報告及び平成30年度上半期資金運用状況並びに下半期資金計画 (案) について

報告 (1) 会員増強について

(2) 「地域講演会」の実施報告及び開催予定

□11月理事会 (平成30年11月22日)

1. 平成30年度「臨時代議員総会」の開催について

2. 平成31年度 (2019年度) の理事会等の会議日程について

3. 学生会館の整備問題について

4. 当会事業への会員参加を促す施策の検討について

報告 (1) 現任代議員 (東北大学選挙区・内藤幹治氏) の「辞任」について

(2) 代議員選挙告示後の状況について (口頭報告)

(3) 会員増強について—会員数の増減報告—

(4) 「地域講演会」の実施報告及び開催予定について

□1月理事会（平成31年1月24日）

1. 平成30年度決算見通しについて
2. 平成30年度臨時代議員総会議題について
3. 学士会館の整備に関する代議員総会への提案内容（素案）について
4. 講演会（夕食会・午餐会）の参加資格の見直しについて—前回継続—
報告（1）千代田区による「耐震診断結果」の公表状況について
（2）代議員選挙立候補結果及び今後の手続きについて
（3）平成30年度第3四半期会員数増減について
（4）「地域講演会」の実施報告及び解散予定について

□2月理事会（平成31年2月28日）

1. 「学士会館整備検討委員会」答申及び臨時代議員総会への提案内容について
 2. 平成31年度 事業計画案について
 3. 平成31年度 予算案及び資金計画案について
- 報告（1）「会員増強」について

□3月理事会（平成31年3月14日）

- 報告（1）（本日開催）臨時代議員総会について
（2）（特例の選挙方法による）代議員選挙の実施状況について

（4）監事会

平成30年5月24日に監事会を開催し、以下の議題について検査及び審議を行いました。

1. 監査法人からの報告
2. 平成29年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査
3. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について
4. 代議員総会第3号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）について

（5）常務会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

（6）諸委員会

ア．会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回	平成30年	5月24日	会報第933号
第2回	平成30年	7月26日	会報第934号
第3回	平成30年	9月27日	会報第935号
第4回	平成30年	11月22日	会報第936号
第5回	平成31年	1月24日	会報第937号
第6回	平成31年	3月14日	会報第938号

イ．会員増強実行委員会

委員会は、次の通り継続開催され、会員増強に向けての各種施策について協議を行いました。

また、『NU7』については、編集担当委員による内容確認の上で、隔月で発行しています。

第23回 平成30年 5月14日

第24回 平成30年 9月 7日

第25回 平成30年11月 5日

第26回 平成31年 2月 4日

なお、本委員会は平成31年4月以降も継続して開催されております。

ウ. 学士会館整備検討委員会

理事会の下に、「学士会館整備検討委員会」を設け、平成30年4月から平成31年1月にかけて計9回の委員会を下に記載した通り開催し、さまざまな選択肢とその可能性について検討を行いました。また、本委員会では、検討テーマの専門性及び運営上の効率性の観点より、委員会の下に「建築部会」、「財務部会」、「会館機能部会」の三部会を設け、それぞれのテーマについて専門的な検討を行いました。

[学士会館整備検討委員会 開催日]

第1回 平成30年 4月26日

第2回 平成30年 5月24日

第3回 平成30年 6月21日

第4回 平成30年 7月26日

第5回 平成30年 8月24日

第6回 平成30年 9月27日

第7回 平成30年10月25日

第8回 平成30年11月22日

第9回 平成31年 1月24日

エ. 趣味同好会

平成30年12月3日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、懇親会を開催し、懇談を行いました。

5. 会 員

本年度における正会員の増減及び年度末正会員数は次の通りです。※カッコ内は前年度実績

新 会 員	892名	(773名)
逝 去 会 員	673名	(785名)
退 会 会 員	1,029名	(1,003名)
会費長期未納退会者	299名	(264名)
差 引 減	1,109名	(1,279名)
現 在 会 員 数	44,406名	(内 終身会員5,775名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が461名、平成21年度より新たに制度化された「新終身会員」が5,314名になります)

学 生 会 員 1,815名

(注:3月卒業・修了予定の230名を含めた会員数になります)

6. その他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当社が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[(株)学士会館精養軒の概要] (平成31年3月31日現在)

- 名 称 株式会社学士会館精養軒
- 所 在 東京都千代田区神田錦町3-28
- 代表者 代表取締役社長 小堀 康生
- 資本金 10,000,000円
- 売上高 1,682,741千円 (平成30年度決算)

(株)学士会館精養軒の平成30年度の営業結果は、次の通りです。

□平成30年度 (平成30年4月1日～平成31年3月31日) 決算

- ・売上高 1,682,741千円 (前年度: 1,635,495千円)
- ・営業利益 7,723千円 (同 : △2,818千円)
- ・経常利益 20,081千円 (同 : 2,363千円)

なお、当社との取引関係については、「平成30年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。

Ⅱ. 平成30年度 決算報告 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	223,729,422	218,568,941	5,160,481
未収金	37,673,717	36,597,965	1,075,752
仮払金	0	638,915	△ 638,915
前払費用	2,989,982	4,455,839	△ 1,465,857
流動資産合計	264,393,121	260,261,660	4,131,461
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	432,393,320	432,393,320	0
建物	284,489,016	330,867,679	△ 46,378,663
基本財産合計	716,882,336	763,260,999	△ 46,378,663
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	1,552,340,400	1,554,748,000	△ 2,407,600
建物設備修繕特定資産	1,488,790,639	1,493,842,239	△ 5,051,600
会員活動強化特定資産	294,451,893	305,700,050	△ 11,248,157
終身会費特定資産	105,370,000	97,805,000	7,565,000
退職給付引当特定資産	82,522,750	77,620,250	4,902,500
役員退職慰労引当特定資産	3,820,429	3,787,930	32,499
特定資産合計	3,527,296,111	3,533,503,469	△ 6,207,358
(3) その他固定資産			
什器備品	57,253,596	56,132,522	1,121,074
一括償却資産	1,369,226	1,058,741	310,485
ソフトウェア	13,163,532	10,465,119	2,698,413
子会社株式	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	71,802,354	67,672,382	4,129,972
固定資産合計	4,315,980,801	4,364,436,850	△ 48,456,049
資産合計	4,580,373,922	4,624,698,510	△ 44,324,588

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	28,751,983	27,094,612	1,657,371
前受金	1,020,920	3,644,320	△ 2,623,400
預り金	838,282	1,370,114	△ 531,832
未払消費税等	3,430,600	1,427,600	2,003,000
賞与引当金	6,887,000	6,704,000	183,000
流動負債合計	40,928,785	40,240,646	688,139
2. 固定負債			
退職給付引当金	82,522,750	77,620,250	4,902,500
役員退職慰労引当金	3,820,429	3,787,930	32,499
固定負債合計	86,343,179	81,408,180	4,934,999
負債合計	127,271,964	121,648,826	5,623,138
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	4,453,101,958	4,503,049,684	△ 49,947,726
(うち基本財産への充当額)	(716,882,336)	(763,260,999)	(△ 46,378,663)
(うち特定資産への充当額)	(3,440,952,932)	(3,452,095,289)	(△ 11,142,357)
正味財産合計	4,453,101,958	4,503,049,684	△ 49,947,726
負債及び正味財産合計	4,580,373,922	4,624,698,510	△ 44,324,588

正味財産増減計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	26,383,927	28,932,930	△ 2,549,003
② 受取会費			
普通会費収益	156,073,300	162,538,800	△ 6,465,500
終身会費収益	18,450,000	19,400,000	△ 950,000
③ 会館運営収益			
業務委託固定収益	289,440,000	289,440,000	0
業務委託変動収益	49,237,578	48,623,359	614,219
④ 事業収益			
講演会等収益	24,382,179	23,448,804	933,375
会報等広告料収益	8,054,514	7,843,608	210,906
同好会費収益	973,775	749,066	224,709
氏名録発行収益	158,347	25,924,002	△ 25,765,655
⑤ 雑収益			
受取利息及び配当金	1,925	16,002,085	△ 16,000,160
その他収益	2,590,908	3,176,121	△ 585,213
経常収益計	575,746,453	626,078,775	△ 50,332,322
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,525,465	2,533,198	△ 7,733
給与手当	87,474,954	96,344,640	△ 8,869,686
賞与引当金繰入額	5,096,380	4,960,960	135,420
退職給付費用	3,627,850	3,923,850	△ 296,000
福利厚生費	14,680,095	16,007,833	△ 1,327,738
旅費交通費	2,631,216	3,169,786	△ 538,570
電話費	658,477	771,476	△ 112,999
減価償却費	69,285,507	73,340,354	△ 4,054,847
什器備品費	851,924	803,124	48,800
事務用品費	583,500	696,592	△ 113,092
消耗品費	4,340,794	4,032,577	308,217
図書費	440,768	429,759	11,009
営繕費	20,491,801	18,379,360	2,112,441
施設保守費	78,241,890	74,736,175	3,505,715
給水冷暖房費	21,810,433	20,570,813	1,239,620
電灯電力費	37,290,867	34,288,978	3,001,889
保険料	1,093,866	1,053,090	40,776
租税公課	61,971,100	56,569,600	5,401,500
会報費	52,914,077	60,068,451	△ 7,154,374
氏名録関連費	48,039	27,245,430	△ 27,197,391
講演会等経費	23,426,341	22,724,081	702,260
会員活動強化費	7,421,886	5,550,765	1,871,121
七大学支援費	7,907,000	7,537,000	370,000
システム管理費	9,201,658	6,485,108	2,716,550
会場施設使用料	1,533,000	1,723,000	△ 190,000
事業費計	515,548,888	543,946,000	△ 28,397,112

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	5,372,691	5,256,639	116,052
給与手当	30,734,453	33,850,831	△ 3,116,378
賞与引当金繰入額	1,790,620	1,743,040	47,580
役員退職慰労引当金繰入額	804,583	821,251	△ 16,668
退職給付費用	1,274,650	1,378,650	△ 104,000
福利厚生費	6,216,437	7,187,784	△ 971,347
旅費交通費	1,583,122	1,565,924	17,198
会議費	7,972,035	5,357,407	2,614,628
賃借料	115,628	115,628	0
電話費	282,207	330,634	△ 48,427
減価償却費	3,523,260	3,177,246	346,014
事務用品費	250,070	298,547	△ 48,477
給水冷暖房費	674,561	636,220	38,341
電灯電力費	1,153,333	1,060,493	92,840
租税公課	14,475,278	19,768,184	△ 5,292,906
会員証作成費	1,202,951	1,039,795	163,156
集金費	5,087,117	5,456,181	△ 369,064
業務報酬料	4,950,000	4,987,500	△ 37,500
会館整備検討費	1,099,557	0	1,099,557
システム管理費	4,710,969	5,116,509	△ 405,540
雑費	1,421,406	1,122,596	298,810
管理費計	94,694,928	100,271,059	△ 5,576,131
経常費用計	610,243,816	644,217,059	△ 33,973,243
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 34,497,363	△ 18,138,284	△ 16,359,079
特定資産評価損益等	△ 14,302,900	11,820,700	△ 26,123,600
当期経常増減額	△ 48,800,263	△ 6,317,584	△ 42,482,679
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 基本財産除却損	68,478	7,945,611	△ 7,877,133
② 特定資産償還損	0	660,000	△ 660,000
③ 固定資産除却損	938,985	1,542,934	△ 603,949
経常外費用計	1,007,463	10,148,545	△ 9,141,082
当期経常外増減額	△ 1,007,463	△ 10,148,545	9,141,082
税引前一般正味財産増減額	△ 49,807,726	△ 16,466,129	△ 33,341,597
法人税・住民税及び事業税	140,000	140,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 49,947,726	△ 16,606,129	△ 33,341,597
一般正味財産期首残高	4,503,049,684	4,519,655,813	△ 16,606,129
一般正味財産期末残高	4,453,101,958	4,503,049,684	△ 49,947,726
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,453,101,958	4,503,049,684	△ 49,947,726

正味財産増減計算内訳書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位:円)

科目	実施事業等会計				その他事業会計					法人会計	合計	
	会報発行事業		寄附事業		金館運営事業	講演会等事業	会員親睦事業	七大学支援事業	その他事業			小計
	会報発行事業	寄附事業	小計	小計								
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
① 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,383,927
② 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	174,523,300
③ 会館運営収益	0	0	0	0	338,677,578	0	0	0	0	0	0	338,677,578
④ 事業収益	8,054,514	0	0	8,054,514	0	9,909,282	4,073,342	0	11,531,677	25,514,301	0	33,568,815
⑤ 雑収益	8,054,514	0	0	8,054,514	0	9,909,282	4,073,342	0	11,531,677	364,191,879	2,592,833	575,746,453
経常収益計	92,502,741	7,260,000	99,762,741	99,762,741	290,080,704	28,840,558	43,542,023	24,402,226	28,920,636	415,786,147	0	515,548,888
(2) 経常費用												
① 事業費	1,719,533	0	1,719,533	1,719,533	241,779	241,779	161,186	161,188	0	805,932	0	2,525,465
給料手当	23,618,237	0	23,618,237	23,618,237	23,618,237	12,246,493	13,121,243	6,123,246	8,747,498	63,856,717	0	87,474,954
賞与引当金繰入額	1,376,022	0	1,376,022	1,376,022	1,376,022	713,493	764,457	356,747	509,639	3,720,358	0	5,096,380
退職給付費用	979,519	0	979,519	979,519	979,519	507,899	544,177	253,949	362,787	2,648,331	0	3,627,850
福利厚生費	3,963,625	0	3,963,625	3,963,625	3,963,625	2,055,213	2,202,014	1,027,605	1,468,013	10,716,470	0	14,680,095
旅費交通費	710,428	0	710,428	710,428	710,428	368,370	394,682	184,185	263,123	1,920,788	0	2,631,216
電話費	190,958	0	190,958	190,958	0	164,619	210,712	13,170	79,018	467,519	0	658,477
減価償却費	1,385,710	0	1,385,710	1,385,710	49,192,709	692,855	10,392,826	6,235,695	1,385,712	67,899,797	0	69,285,507
什器備品費	0	0	0	0	851,924	0	0	0	0	851,924	0	851,924
事務用品費	169,215	0	169,215	169,215	0	145,875	186,720	11,670	70,020	414,285	0	583,500
消耗品費	0	0	0	0	3,472,635	434,079	434,080	0	0	4,340,794	0	4,340,794
図書費	0	0	0	0	440,768	0	0	0	0	440,768	0	440,768
営繕費	0	0	0	0	20,491,801	0	0	0	0	20,491,801	0	20,491,801
施設保守費	0	0	0	0	78,241,890	0	0	0	0	78,241,890	0	78,241,890
給水冷暖房費	436,208	0	436,208	436,208	15,485,407	218,104	3,271,564	1,962,938	436,212	21,374,225	0	21,810,433
電灯電力費	745,817	0	745,817	745,817	26,476,515	372,908	5,593,630	3,356,178	745,819	36,545,050	0	37,290,867
保険料	0	0	0	0	1,093,866	0	0	0	0	1,093,866	0	1,093,866
租税公課	0	0	0	0	61,971,100	0	0	0	0	61,971,100	0	61,971,100
会報費	52,914,077	0	52,914,077	52,914,077	0	0	0	0	0	0	0	52,914,077
氏名録関連費	0	0	0	0	0	0	48,039	0	0	48,039	0	48,039
講演会等経費	0	0	0	0	0	8,488,805	4,419,627	0	10,517,909	23,426,341	0	23,426,341
会員活動強化費	0	0	0	0	0	0	0	3,823,242	3,598,644	7,421,886	0	7,421,886
七大学支援費	0	7,260,000	7,260,000	7,260,000	0	647,000	0	647,000	0	647,000	0	7,907,000
システム管理費	4,293,392	0	4,293,392	4,293,392	1,472,479	1,227,066	1,227,066	245,413	736,242	4,908,266	0	9,201,658
会場施設使用費	0	0	0	0	0	963,000	570,000	0	0	1,533,000	0	1,533,000

②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94,694,928	94,694,928
役員報酬												5,372,691	5,372,691
給料手当												30,734,453	30,734,453
賞与引当金繰入額												1,790,620	1,790,620
役員退職慰労引当金繰入額												804,583	804,583
退職給付費用												1,274,650	1,274,650
福利厚生費												6,216,437	6,216,437
旅費交通費												1,583,122	1,583,122
会議費												7,972,035	7,972,035
賃借料												115,628	115,628
電話費												282,207	282,207
減価償却費												3,523,260	3,523,260
事務用品費												250,070	250,070
給水冷暖房費												674,561	674,561
電灯電力費												1,153,333	1,153,333
租税公課												14,475,278	14,475,278
会員証作成費												1,202,951	1,202,951
集金費												5,087,117	5,087,117
業務報酬料												4,950,000	4,950,000
会館整備検討費												1,099,557	1,099,557
システム管理費												4,710,969	4,710,969
雑費												1,421,406	1,421,406
経常費用計	92,502,741	7,260,000	99,762,741	290,080,704	28,840,558	43,542,023	24,402,226	415,786,147	28,920,636	94,694,928	610,243,816		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 84,448,227	△ 7,260,000	△ 91,708,227	48,596,874	△ 18,931,276	△ 39,468,681	△ 24,402,226	△ 51,594,268	△ 17,388,959	△ 108,805,132	△ 34,497,363		
特定資産評価損益等												△ 14,302,900	△ 14,302,900
当期経常増減額	△ 84,448,227	△ 7,260,000	△ 91,708,227	48,596,874	△ 18,931,276	△ 39,468,681	△ 24,402,226	△ 51,594,268	△ 17,388,959	△ 94,502,232	△ 48,800,263		
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計												0	0
(2) 経常外費用													
①基本財産除却損												68,478	68,478
建物附属設備除却損												68,478	68,478
②特定資産償還損												0	0
③固定資産除却損												938,985	938,985
什器備品除却損												736,145	736,145
一括償却資産廃棄損												202,840	202,840
経常外費用計												1,007,463	1,007,463
当期経常外増減額												△ 1,007,463	△ 1,007,463
税引前一般正味財産増減額	△ 84,448,227	△ 7,260,000	△ 91,708,227	48,596,874	△ 18,931,276	△ 39,468,681	△ 24,402,226	△ 51,594,268	△ 17,388,959	△ 93,494,769	△ 49,807,726		
法人税・住民税及び事業税													
当期一般正味財産増減額												△ 49,947,726	△ 49,947,726
一般正味財産期首残高												4,503,049,684	4,503,049,684
一般正味財産期末残高												4,453,101,958	4,453,101,958
II 指定正味財産増減の部												0	0
当期指定正味財産増減額												0	0
指定正味財産期首残高												0	0
指定正味財産期末残高												0	0
III 正味財産期末残高												4,453,101,958	4,453,101,958

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①子会社株式：原価法によっている。

②その他有価証券：期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び什器備品：定率法によっている。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。また税法上の一括償却資産に該当するものは、3年間の均等償却によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

③役員退職慰労引当金：役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(5) 実施事業資産

学士会館の面積2%相当を事務スペースとして使用。

（土地 8,647,866 円 建物 5,689,780 円）

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	432,393,320	—	—	432,393,320
建 物	330,867,679	7,387,997	53,766,660	284,489,016
小 計	763,260,999	7,387,997	53,766,660	716,882,336
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,554,748,000	—	2,407,600	1,552,340,400
建物設備修繕特定資産	1,493,842,239	28,380,000	33,431,600	1,488,790,639
会員活動強化特定資産	305,700,050	348	11,248,505	294,451,893
終身会費特定資産	97,805,000	18,250,000	10,685,000	105,370,000
退職給付引当特定資産	77,620,250	4,902,500	—	82,522,750
役員退職慰労引当特定資産	3,787,930	783,333	750,834	3,820,429
小 計	3,533,503,469	52,316,181	58,523,539	3,527,296,111
合 計	4,296,764,468	59,704,178	112,290,199	4,244,178,447

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土 地	432,393,320	—	(432,393,320)	—
建 物	284,489,016	—	(284,489,016)	—
小 計	716,882,336	—	(716,882,336)	—
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,552,340,400	—	(1,552,340,400)	—
建物設備修繕特定資産	1,488,790,639	—	(1,488,790,639)	—
会員活動強化特定資産	294,451,893	—	(294,451,893)	—
終身会費特定資産	105,370,000	—	(105,370,000)	—
退職給付引当特定資産	82,522,750	—	—	(82,522,750)
役員退職慰労引当特定資産	3,820,429	—	—	(3,820,429)
小 計	3,527,296,111	—	(3,440,952,932)	(86,343,179)
合 計	4,244,178,447	—	(4,157,835,268)	(86,343,179)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,042,587,600	1,758,098,584	284,489,016
什 器 備 品	274,789,542	217,535,946	57,253,596
一 括 償 却 資 産	9,288,032	7,918,806	1,369,226
ソ フ ト ウ ェ ア	72,816,013	59,652,481	13,163,532
合 計	2,399,481,187	2,043,205,817	356,275,370

5. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容	議決権所有割合
子会社	株式会社 学士会館精養軒	東京都千代田区神田錦町 3-28-1	719,100,868	飲食業・ 旅館他	100%

関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員の兼務等	事業上の関係	会館運営に伴う 施設貸与(※)	337,237,578	未収金	31,869,257
—	会館運営の委託				

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税が含まれている。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(※) 価格その他の取引は、市場実勢を参考に当会が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定している。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△ 82,522,750
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金 (①+②)	△ 82,522,750

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	4,902,500
②会計基準変更時差異の費用処理額	0
③退職給付費用（①＋②）	4,902,500

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

7. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、仕組債により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、仕組債のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

特定資産の一部は、債券、仕組債であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）がある。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資金管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金管理規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

関連する市場の動向を定期的に把握し、理事会に報告する。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細での記載を省略している。

2. 引当金明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	6,704,000	6,887,000	6,704,000	—	6,887,000
退 職 給 付 引 当 金	77,620,250	4,902,500	—	—	82,522,750
役員退職慰労引当金	3,787,930	783,333	750,834	—	3,820,429
合 計	88,112,180	12,572,833	7,454,834	—	93,230,179

財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

(単位：円)

科 目		金	額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	(手許有高)	1,235,927	
振替預金	(ゆうちょ銀行)	3,519,507	
普通預金	(三菱UFJ銀行他)	218,973,988	
未収金	(会館運営収入未収分他)	37,673,717	
前払費用	(損害保険、前払交通費他)	2,989,982	
流動資産合計			264,393,121
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土 地	(千代田区神田錦町三丁目 28番1, 28番2, 28番3, 28番4, 敷地3,399.97㎡)	432,393,320	
建 物	(千代田区神田錦町三丁目 28番地1学士会館建物地下1 階付5階建延9,337.47㎡)	284,489,016	
基本財産合計		716,882,336	
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	(第311回利付10年国債他)	1,552,340,400	
建物設備修繕特定資産	(第144回三菱東京UFJ銀行債他)	1,488,790,639	
会員活動強化特定資産	(第27回三井住友銀行債他)	294,451,893	
終身会費特定資産	(三菱UFJ銀行普通預金他)	105,370,000	
退職給付引当特定資産	(三井住友銀行定期預金他)	82,522,750	
役員退職慰労引当特定資産	(三菱UFJ銀行普通預金)	3,820,429	
特定資産合計		3,527,296,111	
(3) その他固定資産			
什器備品	(電気製品他)	57,253,596	
一括償却資産	(厨房機器他)	1,369,226	
ソフトウエア	(学生会HP (スマートフォン対応) 構築)	13,163,532	
子会社株式	(榊学生会館精養軒)	16,000	
その他固定資産合計		71,802,354	
固定資産合計			4,315,980,801
資 産 合 計			4,580,373,922
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	(各業者に対する未払額)	28,751,983	
前受金	(平成31年度鑑賞ツアー他)	1,020,920	
預り金	(職員他源泉所得税他)	838,282	
未払消費税等	(平成30年度確定消費税額)	3,430,600	
賞与引当金	(職員賞与に対する引当金)	6,887,000	
流動負債合計			40,928,785
2. 固定負債			
退職給付引当金	(職員15名分)	82,522,750	
役員退職慰労引当金	(役員18名分)	3,820,429	
固定負債合計			86,343,179
負 債 合 計			127,271,964
正 味 財 産			4,453,101,958

令和元年5月23日

一般社団法人 学士会
理事長 佐々木 毅 殿

一般社団法人 学 士 会

監 事 岡 田 明 重 ⑩

監 事 橋 本 徹 ⑩

監 事 福 井 俊 彦 ⑩

監 事 三 木 繁 光 ⑩

監 査 報 告

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの当法人の事業年度の事業報告、計算書類、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務の執行について監査を行いましたので、以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の調査を行い、当該事業年度の事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討いたしました。さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を行った。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第2号議案

理事の補充選任について

本会の理事定数は、定款第26条により「10名以上15名以内」と定められています。

本会における現状の理事数は14名となっておりますが、本会の会務運営をより円滑に推進していくため、理事の補充選任を行うものです。

なお、理事の選任は定款の規定により、正会員の中より代議員総会の決議により選任する旨、定められております。

理事候補者は次のとおりです。

□候補者 おの でら ただし 小野寺 正 会員 (東北大学・工・45年卒)
KDDI株式会社 相談役
元 同社代表取締役社長 兼 会長
京セラ株式会社取締役
株式会社大和証券グループ本社取締役

(参考)

定款第27条第1項

理事及び監事は、正会員の中から代議員総会の決議により選任する。

なお、今回選任される理事の任期は、定款第30条第2項の規定により令和3年6月開催の通常代議員総会終了時までとなります。

第3号議案

任期満了に伴う監事2名の選任について

現任監事4名のうち、本代議員総会終結の時をもって橋本徹監事、福井俊彦監事の2名が任期満了となりますので、監事2名の選任をお願いいたします。

本議案につきましては、監事全員の同意を得ております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏 名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1 再任	橋本 徹 <small>はしもと とおる</small>	東京大学 法学部 昭和32年卒	学士会監事 みずほフィナンシャルグループ名誉顧問 元 (株)富士銀行頭取
2 再任	福井 俊彦 <small>ふくい としひこ</small>	東京大学 法学部 昭和33年卒	学士会監事 キャノングローバル戦略研究所理事長 元 日本銀行総裁